

## B 親の職場参観，家族と将来を語る機会

### 1 親の職場見学会（7・8月）

今年度の新しい試みとして『自分の家族が働いている姿やその職場の様子，あるいは地域で働く人々の姿を見てみよう』という趣旨で実施した【職場見学会】。事前に保護者の皆様に説明をさせていただいたところ，多くの方々から御理解と御協力をいただき，1年生が夏休み中に15の事業所（職場）に分かれて見学や体験をすることができました。生徒たちは，体験の場面ではまだまだ積極的にかかわることはできなかったかもしれませんが。しかし，特に自分の親が働いている姿を見た生徒は，とても貴重な経験になったはずです。そして，あらためて働くことや親の存在を思うよい機会になったと思います。



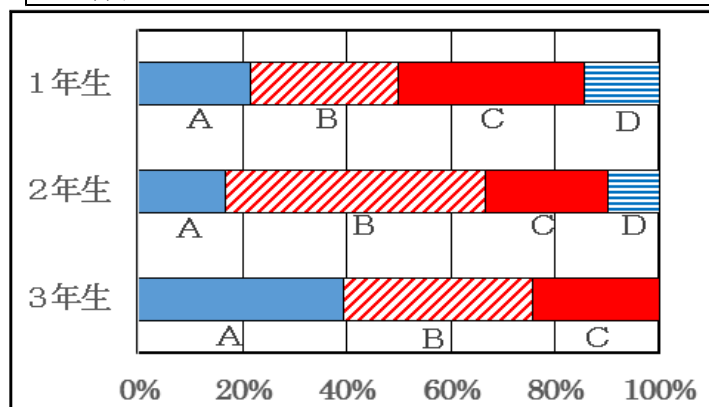
### 2 親の職場見学を終えてのレポートより

- すごいと思ったことは，仕事が進む速さは速いのに，患者さんに合わせて丁寧に仕事をやっていたことです。具体的に言うと，患者さんによって話すスピードをゆっくりにしたり，明るくふるまっていたりしていたことです。社会に出れば，こういうことがすごく大切になると思うので，すごく良い経験になってよかったです。
- 僕はこの見学を通して，お年寄りの方に対しての言葉遣いやコミュニケーションに気をつけなければいけないことが分かりました。特に，言葉遣いではお年寄りの方に失礼のないように話をすることの大切さが分かりました。
- 私は，この職場体験で「利用者に気を遣うこと」「挨拶をしっかりすること」「利用者のけがに気をつけること」が大切だと知りました。その職業によって大切なことがたくさんあることが分かりました。

### 3 「家庭では，生徒の将来のことを話題にしていますか？」

（12月の保護者アンケート結果より）

A…話題にしている B…まあまあしている C…あまりしていない D…していない



この質問に関しては，一般的には学年が上がるにつれ，各家庭で進路（子どもの将来）について話題にするようになって考えられます。当校も，グラフのように学年と共に進路の話題をする機会が増えています。しかし，1年生は，Aの割合も比較的多く，親の職場見学や職場体験学習がきっかけになっていると考えることもできます。